

県立多治見病院 緩和ケア病棟便り

2025年12月号

発行：岐阜県立多治見病院緩和ケア病棟

【イベント予定】

岐阜県立多治見病院 緩和ケア病棟 行事予定表



2025年 12月



日	月	火	水	木	金	土
	1 14時～ マジックショー	2 15時～ ティーサービス	3 14時～ 音楽療法	4 14時～ ハーモニカ演奏	5	6
7	8	9 14時～ ピアノ演奏(連弾) 15時～ ティーサービス	10 14時～ ふれあい喫茶	11 14時～ 讃美歌とピアノ	12	13
14	15 14時～ 音楽療法	16 14時～ 園芸療法 15時～ ティーサービス	17 14時～ ふれあい喫茶	18 14時～ ふれあい喫茶	19 14時～三線	20
21	22 14時～ ピアノ演奏	23 15時～ ティーサービス	24 14時～ ふれあい喫茶	25 14時～ ハープ演奏	26 14時～ 法話	27 14時～アニマルセラピー(がんも)
28	29	30	31			
		※病棟のイベントは、緩和ケア病棟を退院した患者さんやその家族も参加できます。 都合により参加できない場合や中止の場合もあります。お電話か以下のメールでご確認ください。 電話：0572-22-5311（内線：7493 緩和ケア病棟師長） メール：kanwa@tajimi-hospital.jp				

【コラム】

《『しんしんと寒さがたのしみゆく』 星野立子》



冬の静けさのなかで、寒さを楽しく感じるほど気分が良かったのかと思いを感じ「歩みゆく」は前向きに生きていくメッセージとして考えることができ、作者の想像を見たような気がしました。

12月はクリスマスはもちろんイベントが盛りだくさんです。この1年に心から感謝を込め、年末年始を穏やかに過ごしたいものですね。

市中にはクリスマスツリーやイルミネーションが飾られ、クリスマスソングや鈴の音が聞こえ、ワクワクしませんか。子供の頃を思い出し、大人になっても期待してしまいます。クリスマスソングは昭和30年代、戦後復興を経てデパートやホテルが“西洋クリスマス”を演出するようになり、真っ白なケーキにイチゴを乗せたクリスマスケーキが家庭に広まりました。昭和60年頃になると家族行事だったクリスマスは、徐々に恋人たちの特別な夜になり、その頃、山下達郎の『クリスマス・イブ』が発表され、今でも冬になると耳にする1曲です。

いよいよ年の瀬です。

病棟の庭園にはパンジーやキンセンカが植えられ、畑にはニンニクの葉が寒い中、青々と空に向かって並んでいるのを見ると、頑張ろうと思います。その上を飾るように、多治見工業高校電気部によるイルミネーションが、白・赤・青の電飾が鮮やかに輝き見せてくれています。



ボランティアコーディネーター：河村銘子